

Rotary
District 2680



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014-2015



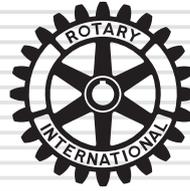
GOVERNOR Koji Takizawa

JUN 2015
vol.12



Rotary

District 2680



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。



ガバナーズレター.....	1
Rotary Breeze／文庫通信.....	3
対談シリーズ「ガバナーと話そう」.....	4
研修出前セミナー.....	6
ローターアクト指導者育成セミナー／RYLAカウンセラーミーティング.....	9
第37回RYLAセミナー.....	10
コーディネーターニュース.....	11
地区委員会報告.....	12
ご入会おめでとうございます／ガバナー事務所からのお知らせ／訃報.....	16
ご協力に感謝します／地区活動予定.....	17
出席報告	

❖今月の表紙

「初夏の詩」

撮影者：吉田鉄也（明石西）

明石市は瀬戸内の海岸線に沿って東西に長く続く人口約30万人の都市です。

JR明石駅のすぐ北側の県立明石公園の高台には明石城址があります。その巽櫓と子午線上にある市立明石天文科学館を遠望。海峡からのさわやかな風が気持ちよい一日でした。



ロータリークラブの会長と幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区
ガバナー 滝澤 功治 (神戸須磨)

6月になりました。いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

いよいよブラジルのサンパウロで国際大会が開催されます。私の年度も最終ゴールまであと僅かになりました。

6月はロータリー親睦活動月間です。

ロータリーの親睦を考える

ロータリーに入会して、何が一番よかったですか。

このように質問すると、「親しい友人を見つけたこと」と答える人が最も多いのではないのでしょうか。普段、同業以外の人と交流が少ない専門的職業の方は特にそうだと思います。仕事のことを脇に置いて、お互いにロータリアンという共通の「肩書き」のもとに酌み交わす酒の席、旅行、ゴルフ、実に楽しいものです。しかしロータリーの親睦とは、それだけのものでしょうか。

私は、今年度クラブ奉仕委員会に「ロータリーにおける真の親睦の意味を問い直し、各クラブに提示する」ことを諮問しました。「真の親睦」とはどのようなものをいうのでしょうか。

この問いについては、今年度、クラブ奉仕委員会のアドバイザーをお願いした中村尚義パストガバナーにクラブ奉仕セミナーでお話いただきましたので、既に十分ご理解いただいていることと存じます。屋上屋を架することになりますが、私が普段考えていること少し述べさせていただきます。

1905年に創始されたロータリーが親睦と互惠取引を基礎に置いていたことはよく知られています。「寂しかったから」という言葉はご存知でしょう。1935年、初めて来日したポール・ハリスが「なぜロータリーを創ったのですか」と尋ねられたときの答えです。実際、ポール・ハリスは、ロータリーを始める前、「千人もの友人を持つ人といえども、一人として失っていいと思われる友はいない。」というエマーソンの詩を前に、「私には千人の友どころか一人の友もない」と悲しげに話していたといえます。初期のロータリーが親睦を最も優先したゆえんでしょう。ポール・ハリスはその後、ドナルド・カーターの忠告を受けて「我らの親

睦のエネルギーを世のため人のために」とロータリーに奉仕の概念を取り入れ、今日のロータリーの思想の基礎を築きました。「ロータリー精神は親睦と奉仕の調和の中に宿る」という言葉がありますが、まさにロータリーの本質を表していると思います。

このように常に奉仕と両立させて語られる親睦とはどのようなものをいうのでしょうか。私は「ロータリーの親睦」というとき、常に思い出す言葉があります。1923-24年度のRI会長ガイ・ガンディカーの言葉です。「しばしば、ロータリーの良き親睦がロータリーの全てであると誤解されている。ロータリークラブの中にもまた、ゆらぐことのない親睦の確立こそロータリーの存在の根拠であると考えているものがある。この2つの立場には批判の余地があることは明白である。良き親睦は決してロータリーの全てではないのであって、良き親睦はロータリーという苗木が根を下ろし、そして生長するための土壌をなしているのである。」(ロータリー通解) 私の拙い頭で考えると、ロータリーとしての奉仕活動を展開していく上で、まさにその機運を醸成し、そのエネルギーを生み出す原動力となるのが親睦であるということだと思います。そうであれば、ロータリーの親睦とは、その場限りの楽しみや気晴らしではなく、相互の信頼を基礎においた深い友情を築くものでなくてはなりません。

ロータリーにおける親睦はどのようにして築かれるのでしょうか。それは例会において築かれるというのが私の考えです。米山梅吉翁の「ロータリーの例会は人生の道場である」という言葉をひくまでもなく、例会は真の友人を見付ける場であり、友情を深めると共に、自らの人格を磨く場です。逆に言えば、そのようなものでなければ例会の意味は失われてしまうとさえ思います。私がことあるごとに例会の大切さを言い、規律ある、秩序を重んじる例会の運営を呼びかけるのはそのような考えによるものです。

6月、年度の最終の月がロータリー親睦活動月間と定められているのは、新しい年度の開始を目前にしたまさにこの時期、あらためてロータリーの原点に思いを致そうと呼びかけられているように思います。

あらためて当地区の「形」を考える

今から2年前の春から初夏にかけて、当時ガバナーノミニーであった私は、1年余り後に始まる自分のガバナー年度をどのように運営しようかと毎日頭がいっぱいでした。ガバナーエレクトになれば9月にはガバナー補佐の研修を始めなければなりません。そのときまでに運営の基本方針を固める必要があります。そのようにして地区の状況についてあれこれ考えた末、生まれたのが私の年度の行動方針“TRY SOMETHING NEW!”でした。

しかし、今にして思えば、当時の私は地区の現状を把握することに精一杯で、地区の組織そのものの問題点にまでは考えは及びませんでした。言い換えれば地区の組織の現状を所与の前提として、それをどのように動かしていくかばかりを考えていたのです。委員会に新しい人を入れる、委員会間の情報交換の場を設けて横の連携を重視する等々、いくつかの新しい方針を打ち出しましたが、これらはいずれも組織そのものには手を付けず、運営方法を改革しようと試みたものにすぎません。

さしあたりガバナー補佐について考えてみましょう。当地区では73のクラブを13のグループに分け、それぞれのグループから毎年7月に次年度の補佐が推薦され、ガバナーはそのまま任命するのが一般的です。実際にはガバナー補佐の方々は推薦の随分前にクラブやグループから事実上「指名」されているので、相当の覚悟をもって就任されます。したがって個々のガバナー補佐には問題はないのですが、グループ内でガバナー補佐を輩出するクラブのローテーションが事実上決められているという現実はどうなものでしょうか。クラブには100名近い会員を擁する大規模クラブもあれば、会員数が十数名というような小規模クラブもあります。ガバナー補佐を輩出する順番が来ても、その余裕がないので見送るというクラブもあるという話を聞いたとき、制度が空回りしているように思いました。ガバナー補佐はクラブの代表ではありません。どのクラブから出すかではなく、その人の意欲、行動力がガバナー補佐にふさわしいかどうかに着目して任命されるべきです。

ガバナー補佐の任務についても同様です。ガバナー補佐は「地区レベルでの任務を遂行し、指定されたクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する」ものですから（手続要覧29ページ）、「ガバナーの公式訪問に際して開かれる各クラブ協議会に出席する」ものとされています（ロータリー章典17.030.02）。これは何を意味しているのでしょうか。

ガバナー補佐制度が導入されたのは、2002-03年度でした。RIが地区に「地区リーダーシッププラン（DLP）」の採用を義務づけたのです。このDLPは、「ガバナーがガバナー補佐を任命することを定め、ガバナー補佐がクラブ運営に関連した管理業務を遂行することで、ガバナーが以下の責務に専念する時間が持てるようにするもの」です（ロータリー章典17.030.01）。

つまりガバナーは例えば「個々の行事への参加を通じて、クラブと地区の活動やプロジェクトに参加するようロータリアンの意欲を喚起する」とか、「ロータリー財団セミナーや財団プログラムへの参加を奨励し、また、ポール・ハリス・フェロー、財団ベネファクター、大口寄付者などの財団の表彰プログラムを通じて財団への財政支援を奨励する」とかのように、RIの施策をクラブに徹底し、推進するような業務に「専念すべき」であり、それ以外クラブの運営に関してはガバナー補佐に任せておきなさいというのです。このこと自体の当否も議論の余地はありますが、そうであれば、ガバナー補佐は地区の組織の中で最もクラブに近いものであり、クラブに対して助言や指導をしやすい存在でなくてはなりません。しかし、数年前にガバナー補佐を経験した私の実感でもありますが、特定のクラブから輩出されたという意識からか、同じグループといえども他のクラブに対しては率直に発言することはためられるのが実際のようなのです。

例を挙げます。「ロータリーはクラブが基本」、これは私の持論です。クラブは自治権をもち、自律的に運営されるべきものです。しかしその一方、会員数の減少から活動が停滞しているクラブや、従前の活動を維持するために会員に重い負担を求めているクラブ等の話も聞こえてきます。ガバナーは「地区内のクラブに対する指導および監督を行うことで、ロータリーの目的を推進する任務を課せられている」ものですし、「弱体及び問題のあるクラブに特別な関心を払う」責務を負っています（RI細則15条）。ガバナーである以上、そのような「問題のあるクラブ」について無関心ではいられないのです。自ら言うのもおこがましい限りですが、ガバナーには地区全体を適切に運営する責任があります。そうであればクラブに最も近い存在であるガバナー補佐がガバナーの意を体してもっともっと発言し、助言し、支援しやすい体制を構築すべきではないでしょうか。そのためにガバナー補佐の権限を再検討する必要があると思います。

ガバナー補佐だけではなく地区の委員会組織についても問題がありますが、紙幅が尽きてしまいましたのでまた別の機会に述べることにします。

このような考えから、今般、ガバナー直属の新しい委員会として「戦略計画委員会」を設けました。ロータリーが110周年を迎えた今、当地区がさらに力強く発展していくために必要な委員会だと考えています。ご理解をお願いします。

この1年間、皆さまには本当にお世話になりました。そして毎月毎月、皆さまにお送りした私の文字通りの駄文をお読みいただいたことにあらためて感謝申し上げます。

皆さまのクラブがさらに光り輝くことを心から願っています。

LIGHT UP ROTARY



第11回 RI、地区、クラブ この悩ましき三角関係

地区研修リーダー 久野 薫 (神戸東)

“六月を 綺麗な風の 吹くことよ” (子規)

始めにクラブありき。親睦、相互扶助促進のために、会員増強に終始した草創期のロータリーは奉仕の理念を宿して拡大し、クラブ間の情報媒介組織が誕生し、やがてRIとなりました。RIとクラブは情報媒介のみならず奉仕理念の提唱、拡大をRIに託した契約関係にあります。その契約に違反しない限りにおいてクラブには自治権があります。RIの会員はクラブであり、私達ロータリアンではありません。クラブはRIのために存在するのではなく、RIがクラブのために存在します。RIの運営はRI理事会が実質的には握っております。このRI理事は会員であるクラブから選出されたロータリアンをもって構成されます。RIの末端組織が地区であり、RIが地区に派遣した唯一の役員がクラブから選出されたガバナーであります。ガバナーを支える地区委員会委員はガバナーによって委嘱されたロータリアンであり、クラブから出向したロータリアンではありません。ガバナーも地区委員もRIサイドの組織であります。ここに地区とクラブとの間の悩ましい関係が生じてきます。ガバナーも地区委員も必ずしもクラブの代弁者ではないからです。時としてクラブから浮き上がった存在にさえなります。またガバナーと言えどもRI理事会の提案に納得できないことが時折あります。RIは参加国の事情を踏まえて最大公約数として独自のRI運営方針を出してくるからです。RIと地区、クラブは一枚岩のようで一枚岩ではないところに悩ましき関係が生まれます。最近の日本のクラブはRIの提案に正面から向き合うことをしないという、クラブとRIのグロテスクな関係さえ出来上がっています。三者間の風通しを良くするにはどうしたらよいのでしょうか。

文庫通信 (332号)

ロータリー情報抜粋

◎「信天翁 (AHODORI) よちよち歩く」	齊木 亀治郎	1970	209p	姫路R.C.
◎「ロータリーの初心をたずねて」	小堀 憲助	1971	54p	東京千種会
◎「ロータリーにおける思考と行動」	菅野多利雄	1972	128p	
◎「お、ロータリアン (職業奉仕とは)」		1975	84p	金沢北R.C.
◎「ロータリーの本」	森 光繁	1971	126p	今治R.C.
◎「ようこそロータリーへ・新装」	佐藤 千壽	2000	87p	東京江北R.C.
◎「純粋ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学」	小堀 憲助	2009	79p	千種会
				[上記申込先：ロータリー文庫]
◎「ロータリーの森を歩く」	佐古 亮尊	2005	345p	大村北R.C.
				[申込先：長崎新聞社出版室 FAX (095) 848-4856]
◎「ロータリーの心と原点」	廣畑 富雄	2014	171p	
				[申込先：(株)エムケイスペース FAX (092) 737-9557]

◆ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館：午前10時～午後5時 休館：土日祝日

対談シリーズ「ガバナーと話そう」 ガバナー補佐大いに語る座談会（第2弾）

出席者

尼崎：高岡 久（尼崎）
阪神第2：中川 壮平（西宮恵美寿）
淡路：番所 利行（洲本）
西播第2：八幡 昭海（赤穂）

阪神第1：吉岡 康裕（川西猪名川）
東播第1：日下 孝明（明石）
西播第1：白井 務子（姫路東）



滝澤：今日はガバナー補佐（以下「補佐」）の第2組の方々にお集まりいただきました。先月号の第1組と同様に、今年1年を振り返って大いに語り合っていたきたいと思います。

■補佐になることが決まったとき

日下：グループ内で補佐を出すクラブの順番が決まっていますから、私のクラブが前回補佐を出したとき、「次はあんたやで」と言われました。

滝澤：ほとんどのグループでそれが実情のようですね。

高岡：順番待っている人もいますしね。（笑）

吉岡：でも補佐というものは、本来そういうものじゃあないと思いますよ。ガバナーが決めた方がいいし、ガバナーにも誰を選ぶか汗をかいてもらった方がいいと思いますね。

白井：私は補佐の話があったとき、初めての女性補佐ということでプレッシャーを感じたというのが本音です。第1号やから、後々、あんなんやった、こんなんやったとか、絶対言われますでしょう、そういうのがとってもいやで…。

八幡：推薦されたとき、「この歳でせえいうんか」と言いましたら、即座に「そうや」と言われました。（笑）

■補佐の研修

日下：就任1年前の9月に最初の研修があり、早いのには驚きました。まだ年度が始まったばかりですからね。何かプロジェクトを提案せよと言われても、まさにその年度の会長さんもいるし、第一、その年度の補佐がいますから、気を遣いますよ。

吉岡：あんまり早々と詰め込むと、いざ本番のときに疲れが出てしまうと思います。

高岡：私は早く同期の皆さんと顔を合わせてよかったと思います。こういう人らと1年やるんやということで、ありがたかったとも思います。

日下：まあ実際やってみて、財団の補助金プロジェクトは早く準備に取りかからなければいけないという意識はある程度浸透してきているように思います。

■セミナーが多かった

日下：回数は多かったけれど、それは覚悟の上で出席しました。それとセミナーを出張して方方でやっ

てもらったのがありがたかったです。準備した委員会はしんどかったでしょうけどね。

中川：多いなどは感じていましたが疲れはしませんでした。地区委員会の活動もよく分かりましたし、よかったと思いますよ。

■補佐になってよかったこと

中川：ロータリーが、毎年2月の地区チーム研修セミナーから始まって、3月のPETS、4月の地区研修・協議会と段々形が出来上がり、7月から年度が始まる、そういうシステムが初めてわかり、よかったと思いました。

高岡：私は前年度クラブ会長をしましたが、会長と補佐では見えてくるものが違う、視野が広がるということを実感しました。

■補佐としての活動で重点をおいたこと

高岡：“Light Up Rotary”と“Try Something New!”は単純でわかりやすく、クラブ訪問のとき、活動内容をチェックしやすかったです。それにしても各クラブはなかなか工夫してよくやっているなあと思いました。

日下：他のクラブにはあれやって、これやってとは言えず、お願いしにくいのが現実ですが、今年度、私のクラブの会長が、グループの親睦を深めるためにグループ内の全クラブ合同の親月会を提案したので実施しました。やって本当によかったと思っています。

白井：私のグループは年度初めに合同例会をしますが、そのときも、クラブ訪問のときも、“Try Something New!”について話しました。実際ほとんどのクラブが新しいことをやられました。それと私は最近の新しい会員の中には、ロータリー自体がよくわからないままになっている人が多いように感じましたので、会員の質を高める努力をすべきだと訴えました。賛同してくれた人も多かったですよ。

高岡：でもあんまり補佐の考え方を押しつけると猛反発を食らいますよ。

番所：淡路は狭いところに5つのクラブがあり、なかなか増強も難しいので、テリトリーが重なるクラブに合同例会を開催するように呼びかけ、一緒に奉仕活動も会員増強もやったらどうかと提案しました。

吉岡：私のグループも会員数が減少し、高齢化も進んでいるので、ここは一つ発想を変えて、例えば衛星クラブの設立も考えてみたらどうかと提案しました。衛星クラブでなら会費や人数の面で柔軟に対応できますからね。

八幡：私はとにかくグループ内の親睦を深めるということを基本にしました。

■ガバナー公式訪問前のクラブアッセンブリー

中川：各クラブが歓迎してくれてうれしかったです。

白井：一部のクラブで欠席者が目についたのが残念でした。でもそのクラブもその後こういうことでは



司 会

ガバナー 滝澤 功治

あかんという雰囲気になってきたようです。

日下：私のグループの公式訪問は時期が早かったので、準備が間に合わなかったところもあったようでした。PETSのときに、もっと早くから準備するように会長エレクトに言えばよかったと後になって思いました。

■IM

日下：私は地区内で最も早くIMをしましたが、同期の補佐が沢山駆けつけてくれました。お礼をかねて他のグループのIMに出ましたが、楽しかったし勉強になりましたね。

吉岡：私はその反対で今年の3月、最後の開催でした。だからいつまでたっても落ち着かず、早くやればよかったとつくづく思いました。

滝澤：IMは補佐の仕事ですから、補佐が自分でテーマを好きなように決めてやればよいのですが、どうでしたか。

日下：昔はIMが新人の登竜門という感じで、何か発言を求められ、それが勉強になった記憶があります。それで私は各クラブから比較的在籍年数の少ない人とベテランの2人に出てもらい、新人がベテランにそれぞれのクラブの活動の歴史を学ぶという趣旨でプログラムを作りました。



発言を求められ、それが勉強になった記憶があります。それで私は各クラブから比較的在籍年数の少ない人とベテランの2人に出てもらい、新人がベテランにそれぞれのクラブの活動の歴史を学ぶという趣旨でプログラムを作りました。

八幡：私は自分の思うようにしました。ただ、スポーツをテーマにした講演を企画したので、一般の人にも聞いてもらい、ロータリーデーにしたかったのですが、会場の収容人数の制限があり、それが果たせなかったのが残念でした。

白井：私は全盲の盲学校の元教師の方に講演していただきました。人気のある方なので、2年前にクラブから予約を入れました。まだ私が補佐をすると決まる前ですよ。(笑)



「ロータリーの友」の5月号に講演内容が掲載されましたので、早速全国からいくつか問い合わせが来ています。

高岡：私は能楽を取り上げ、尼崎ゆかりの「船弁慶」を上演したのですが、出演した方が重文級で格調高く、応対に気遣いました。結果はグループ内の全クラブが応援してくれて嬉しかったです。

滝澤：日程が重なり、時間の都合で「船弁慶」を拝見できなかったのが返す返すも残念でした。(笑)何とか重ならないようにできませんかねえ。

白井：早々とグループで開催時期を決めているので、調整は難しいと思いますね。

中川：私は阪神・淡路大震災20年ということで、岩手のガバナーノミニと舞子高校環境防災科の先生に講演してもらいました。準備は大変でしたが、実行委員会の人たちが本当に頑張ってくれました。

番所：私のところも同じです。補佐がテーマを決めると、実行委員会がどんどんやってくれました。この実行委員会に若い人に入ってもらいと本当に勉強になるようです。



私のところも同じです。補佐がテーマを決めると、実行委員会がどんどんやってくれました。この実行委員会に若い人に入ってもらいと本当に勉強になるようです。

吉岡：私はIMは研修と親睦に尽きると考えていますから、みんなでロータリーについて語り合おうと呼びかけました。

滝澤：ガバナーの私も含め、クラブ関係なしに出席者を全部混ぜ、その上で各テーブルに分かれて話し合いをしたのが実に新鮮で面白かったです。

吉岡：それと白井さんが懇親会の料理がおいしかったと言われたのがうれしかったですね。

白井：だって本当においしかったですよ。(笑)

八幡：折角のIMですから記録誌を出すことも考えたらよいと思いますが、出すところとそうでないところがありますね。

番所：クラブやグループの歴史になるのだから、出すべきやと思いますね。

■補佐の就任要件

滝澤：先月の第1組では補佐の就任要件について話が盛り上がりました。

八幡：会長の経験は必須やと思いますよ。会長を経験しないとロータリーのことがよく分からないと思います。(全員肯く)

日下：地区委員の経験がないと補佐ができないということは絶対にはないと思いますよ。(全員肯く)

滝澤：今月はこの話題は盛り上がりませんねえ。(笑)

■RI、地区への注文、ロータリーについての意見

八幡：ベテランで出席規定の適用免除の人が例会にも出席しないし、クラブの仕事も引き受けないという例を時々目にします。その結果例会出席人数が少なくなって、例会自体が低調になるということが気になっています。



も出席しないし、クラブの仕事も引き受けないという例を時々目にします。その結果例会出席人数が少なくなって、例会自体が低調になるということが気になっています。

日下：そういう人もきちんとお願いすればやって下さると思いますよ。それより地区の委員の顔ぶれが固定化してしまい、活動がマンネリ化(?)していることが気になりました。それと人数が少ないクラブは他のクラブと何とか合同で奉仕活動ができないかと思いますがねえ。

吉岡：クラブにはクラブの事情があるし、ロータリーは数合わせではないから、なかなか難しいと思いますよ。

高岡：ロータリーの単年度制、毎年トップが入れ替わるということがよいのかどうか、そろそろ真剣に議論しなければならない時期ではないでしょうか。

滝澤：補佐は3年まで再任できます。皆さん、挑戦しますか。(全員一斉に首を横に振る)

滝澤：やっぱりこのように顔を合わせて語り合うと実に有益で面白い話が出ますね。本当は全発言を月信に載せたいところですが。(笑)本日はお忙しいところをお集まりいただき、ありがとうございました。

◆ 研修出前セミナー

3月14日(土)◆都ホテルニューアルカイク

4月4日(土)◆明石市立産業センター

4月18日(土)◆ハーベスト医療福祉専門学校

研修委員長 久野 薫(神戸東)

地区研修委員会主催の、いわゆる出前セミナーは尼崎、阪神地区（3月14日）、神戸、東播、淡路地区（4月4日）に続いて、最終の三回目を姫路（4月18日）において開催しました。各回とも出席要請者は各クラブ会長、幹事、研修リーダーないしはそれに相当する会員で、式次第は基調講演、検定問題、問題の解説と、みな同一でした。地区研修委員会委員も互いに研修し合うというコンセプトで、役回りは回ごとに、すべて別々の研修委員会委員によって担当されました。具体的には以下の通りでした。検定問題を材料にした研修セミナーの様式もユニークで、出席者の方々の評価もおおむね好評でした。検定問題と解答は後日、各クラブにデータとして配信されますので各クラブでご利用ください。



地 域	開 催 日	講 話	検定問題 解 説 者	司 会
尼崎、阪神	3月14日	堺	加 藤	松 本
神戸、東播、淡路	4月4日	石 丸	興 津	釜 谷
東播、西播、但馬	4月18日	大 庫	岡 田	藤 原

RI第2680地区ロータリー検定

問1 ロータリーについて

1 ロータリーの創立は何年ですか（①）

1. 1895年 2. 1905年 3. 1910年 4. 1915年

2 RIの本部はどこにありますか（②）

1. アナイハイム 2. サンディエゴ
3. エバンストン 4. シカゴ

3 2012-13年度RI会長は、日本人では何人目のRI会長でしょうか（③）

1. 初めて 2. 2人目 3. 3人目
4. 3人以上

4 2014-15年度RI会長の方針はどれですか（④）

1. 心の中を見つめよう 博愛を広げるために
2. ロータリーに輝きを
3. 奉仕を通じて平和を
4. ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を
5. 地域をはぐくみ 大陸をつなぐ

問2 ロータリーの基本理念

1 四つのテスト

「⑤ から ⑨」に入る言葉は？

言行はこれに照らしてから

1. (⑤) かどうか
2. みんなに (⑥) か
3. (⑦) と (⑧) を深めるか
4. (⑨) なるかどうか

2 ロータリーの目的 (OBJECT OF ROTARY)

「⑩ から ⑬」に入る言葉は？

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 (⑩) ことによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い (⑪) を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、(⑫) を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、(⑬) を推進すること

3 「超我の奉仕」とは何か？

「Service, (⑭) Self」が後に「Service (⑮) Self」に変わった。フランク・コリンズがこれを提唱した頃は、ロータリーは会員の利益の拡大のために、仲間内だけで取引をしていた。その相互互惠の仲間内の取引ではなく、会員外にも広げようというのが、この言葉の当初の主旨であったと考えられる。

現在は、この言葉は、以下のように理解されている場合が多い。



「(14) self (自己否定)」が後に「(15) self (自己の超越：超我)」に変えられたことから、「自己を滅却して奉仕をしたのでは、自己の存在を否定することになる。自己の存在を認めた上で、それを超越し、他人に対する奉仕をすべきである」と。

(14) に入る言葉は？

1. 「Over」
2. 「Beyond」
3. 「Not」
4. 「Above」
5. その他 ()

(15) に入る言葉は？

1. 「Over」
2. 「Beyond」
3. 「Not」
4. 「Above」
5. その他 ()

4 第2標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」とは？

相手のことを慮り、みんなのためになるような仕事をするのが、最終的には最大の利益を生み、その職業の繁栄に繋がるという職業の(16)を表す言葉である。売買関係、下請関係、同業関係、雇用関係と、千差万別な関係の連鎖である職業を「正直」に実践し、他者から搾取せず、犠牲を求めることなく、あらゆる人々が信頼と信用に支えられて生活できるようにすることを追求する。それは、高い(16)を持って、天職(vocation)を通じてサービス(職業奉仕：vocational service)をすることとも理解される。

「16」に入る言葉は？

1. 「倫理観」
2. 「向上意識」
3. 「労働意欲」
4. 「仲間意識」
5. 「社会奉仕観」
6. その他 ()

5 「奉仕の理念(Ideal of Service)」とは何か？

ロータリーの目的を理解する上での、重要なのは意義ある事業の基礎として、と書かれている「奉仕の理念」(Ideal of Service)とは一体何を意味するのか、ということです。これは、職業における高い倫理性を維持することであると言えます。ロータリーの文献を調べると、国際ロータリー初代事務総長チェスレー・ペリーにより、「奉仕の理念」とは(17)と表現されています。

(17) に入る言葉は？

1. 「親睦と相互扶助」
2. 「有益な事業の基礎」
3. 「正しい職業倫理観の追求」
4. 「他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと」
5. その他 ()

6 中核的価値観(CORE VALUES)

2007年、ロータリーは戦略計画の一環として、以下の5つの価値観がロータリアンの基本的特徴であるとの理解の下、これらの中核的価値観を採択しました。以来、これら中核的価値観は理事会

によって再び確認され、世界中のロータリアンによって強く支持されています。

国際ロータリーの5つの中核的価値観を上げて下さい。

奉仕、親睦、(18)、(19)、リーダーシップ

問3 ロータリーの戦略計画

ロータリーがこれからもダイナミックな組織でありつづけ、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリーの戦略計画です。

ロータリーの戦略計画は、3つの戦略的優先項目を掲げ、その下に16の目標を定めています。ロータリーが将来も強く活気ある組織であり続けるために、私たちはこれらの優先項目と目標を指針としています。

ロータリーの戦略計画の戦略的優先項目3つを掲げて下さい。

1. クラブのサポートと強化、
2. (20)、
3. (21)

問4 五大奉仕

1 ロータリーの五大奉仕は何ですか。

1. クラブ奉仕
2. 職業奉仕
3. 社会奉仕
4. 国際奉仕
5. (22)

2 職業奉仕

「23」に入る言葉は？

職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で(23)を実践していくという目的を持つものである。会員は、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行う。

3 社会奉仕

「24、25」に入る言葉は？

ロータリーの社会奉仕とは、ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活に(24)を適用することを奨励、育成することである。

この(24)の適用を実行することについては、各ロータリークラブが多彩な社会奉仕活動を開発して、会員に奉仕活動の輝かしい機会を与えてきた。

社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが(25)を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。

4 国際奉仕

「 26 から 28 」に入る言葉は？

1. ロータリー・米山記念奨学事業の使命は、将来日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す (26) と国際理解の推進そのものです。
2. 米山奨学事業では、奨学金を支給するだけでなく、奨学生一人ひとりに対して、地域のロータリークラブから (27) を選び、ロータリーと奨学生の交流の起点としています。さらに会員の中から (28) を選び、日常の相談役となり奨学生が安心して留学生在が留学生を送れるように配慮しています。

問5 ロータリー財団

- 1 RI理事会とロータリー財団管理委員会は、財団の目的を助長するための具体的かつ効果的な手段として、3つの補助金を承認しています。現在、承認されている補助金を記載して下さい。
A (29)、B (30)、
C パッケージグラント (廃止予定)
- 2 グローバル補助金を使って人道的奉仕活動を実践するためには、プロジェクト予算の積算はどのようになりますか？
「 31 と 32 」に当てはまる数値を記入して下さい。
 1. クラブからの現金拠出額をCとした場合の最終の資金合計T1は (31) Cです。ただし、提唱者(クラブ)からの現金拠出金に対して、地区はその2倍の地区財団活動資金を拠出するものとします。
 2. グローバル補助金を使っての奨学金の場合、クラブからの現金拠出額をCとしたときの最終の資金合計T2は (32) Cです。ただし、提唱者(クラブ)からの現金拠出金に対して、地区はその5倍の地区財団活動資金を拠出するものとします。

問6 規定審議会

「 33 から 39 」に入る言葉は？

- 1 規定審議会は国際ロータリーの (33) であり、その組織規定を改正する権限を有する。
- 2 規定審議会は (34) 年に1度、招集される。次回の招集予定は (35) 年である。

- 3 規定審議会に提出する立法案には (36) と (37) があり、このうち (36) はRI定款細則、標準ロータリークラブ定款を改正する立法案である。
- 4 規定審議会に提出する立法案は審議会が開かれるロータリー年度の (38) の12月31日までに (39) 若しくは地区審議会における地区承認の確認と共に事務総長に提出されなければならない。

問7 会員の義務

ロータリー・クラブの会員の主な3つの義務は何ですか。

- (40)、(41)、
(42)

問8 例会

「 43 から 47 」に入る言葉は？

- 1 本クラブは、毎週 (43) 回、細則に定められた日および時間に、定期の会合を開かなければならない。
- 2 例会日が一般に認められた祝日を含む国民の祝日に当たる場合、またはクラブ会員が (44) した場合、または全地域社会にわたって流行病若しくは (45) が発生した場合、または地域社会での武力紛争がクラブ会員の生命を脅かす場合、理事会は、例会を取りやめることができる。
- 3 理事会は、1年に (46) 回まで例会を取りやめることができる。ただし、本クラブが (47) 回を超えて続けて例会を開かないようなことがあってはならない。

問9 クラブの運営

「 48 から 50 」に入る言葉は？

- 1 本クラブの管理主体は、細則の定めるところによって構成される (48) とする。
- 2 クラブの役員は、会長、直前会長、会長エレクト、(49)、会計とし、1名または数名の副会長、および会場監督を役員に含めることができる。このうち、会長、直前会長、会長エレクト、副会長および (50) は、全員理事会のメンバーとする。



◆ ローターアクト指導者育成セミナー

4月12日(日)◆兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

地区ローターアクト代表 奥田 裕

指導者育成セミナーとは次年度役員のリダーシップの為に行われる行事と前々から言われていますが、役員に限らず全参加者が身の回りでリーダーシップを発揮できる事柄や方法を意識的に探ることがこの行事だと思っています。メインプログラム前半は、講師の西海先生による須磨に関する話を拝聴しました。後半は実際に街を歩き、地域に触れて自分たちができること考えました。その後地域の活性化についてディスカッションを行い、花岡次年度ローターアクト代表をはじめ、神戸女子大ローターアクト、明石西高校インターアクトが活発に交流・発表していたのが印象的でした。地区行事への参加者の固定化がローターアクトの問題点でありました。ですが、積極的に取り組んでいるクロスプロモーションの結果としてインターアクトに多数参加いただき、より若い世代の意見やインターアクト独自の取組みを聞くことができました。次世代への期待が深まったような気がします。



◆ RYLAカウンセラーミーティング

4月25日(土)・26日(日)◆神戸YMCA余島野外活動センター

RYLA小委員長 大江 与喜子(西宮恵美寿)

丸尾ガバナーエレクトのご挨拶の後、深川パストガバナーによる講義「RYLAのめざすもの～ロータリーが青少年にめざすもの」と題して、RYLAの歴史から、故人の言葉などをひもとき、また古きロータリアンや名パストガバナーを紹介されながらロータリーのあるべき姿を語られました。リーダー教育、自己研鑽など教育的な濃い講話でした。次の講話は安行委員の永年のRYLAの経験から、また故今井鎮雄先生の想いと意を「RYLA実践講座」として纏められた冊子をもとに、まさに当地区のRYLAの神髄にふれる講話でした。ベテランRYLA委員も、新人カウンセラーも二つの講話に感化され一歩成長したことと思います。夕食の後は「カウンセラーの疑問に答えて」として、まず、黒田青少年奉仕委員長(兼危機管理委員長)がこれまでRYLAではあまり意識されていなかった危機管理について、地区の取り組みや、RYLAでも問題意識を共有するよう問題提起をされました。次に安行委員から学友会設立の意義など、そして学友会小林幹事が学友会作成の動画を披露、学友会の活動について発表されました。



2日目は故今井鎮雄先生のご家族とYMCAリーダー会の方々とともに、今井先生の散骨、野外集会場の十字架の下に一人ずつ砂を入れ、賛美歌とともにお見送りさせていただきました。その後はRYLAセミナーにおけるプログラムの確認と役割分担、カウンセラーの質疑応答と、時間いっぱい充実した意見交換ができました。

◆ 第37回RYLAセミナー

5月21日(木)～24日(日)◆神戸YMCA余島野外活動センター

RYLA小委員長 大江 与喜子(西宮恵美寿)

第37回RYLAセミナーが5月21日から24日まで、香川県小豆島のほとりにある余島で開催されました。今年度の受講生は共同開催のRI第2670地区（四国4県）を含め総勢50名（男性28名、女性22名）、その他ロータリアンが約70名、RYLA学友会（受講生OB等）が17名参加しました。

受講生は4班に分かれ、それぞれ男女1名のカウンセラー（ロータリアンと会員夫人）と共にキャビンで共同生活を送り、連日講義を受け、ひたすら語り合う日々を過ごします。



今年度のテーマは「いのち」、講師は医師で生命科学が専門の千代豪昭先生、前兵庫県教育委員会委員長の山口徹先生、そして当地区の深川純一パストガバナー（RYLA顧問）です。

特に3日目の23日に行われたフォーラムでは、与えられた課題にそって予め各班ごとに徹底的に討論した結果を発表し、またそれを踏まえてさらに全員で討論をするというRYLAならではの白熱した議論が展開されました。

最終日、受講生は、豊かな自然を楽しみ、知り合ったばかりの仲間との友情を確かめ合ったこの4日間の充実した思いを胸に、余島を後にしました。受講生は今後地域社会のリーダーに育つことが期待されています。このRYLAセミナーは必ずやその礎となることでしょう。





会員の退会防止とゾーンの戦略計画

RI第3ゾーン ロータリーコーディネーター 安満 良明 (加治木RC)

今年度も後わずかとなりました。今一番大事なものは、会員の退会防止です。例年年度末の6月にたくさんの退会者がおられます。クラブをあげて退会防止に取り組んでください。

さて、去る4月18日に次年度のための第3ゾーンリーダー会議を福岡で開催し、2015年7月11日(土)に福岡にて第3ゾーンロータリー戦略計画推進セミナーを開催することが話し合われました。次年度からは、ロータリーコーディネーターとロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターの共催で開催されます。今回初めて三つのコーディネーターが共催することになり、ロータリー戦略計画の三つのテーマ「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」、「公共イメージと認知度の向上」が揃って学び話し合える機会となりました。クラブがクラブのための戦略計画を立案し推進していき、それを基にガバナーと地区の戦略委員会が地区の戦略計画を立案推進していただくことが大切だと思います。永年の会員減少の中に、やっと歯止めがかかり会員増加の兆しが見えてきた中、クラブがしっかりと、クラブの未来像を見据えて戦略計画をたて推進していくことが、各々のロータリークラブの基盤を確たるものにするのだと思います。

クラブで取り組む公共イメージ向上 ——次年度に向けた目標

RI第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 岩永 信昭 (長崎北東RC)

公共イメージ向上はここ数年益々強調されている戦略計画優先項目の一つです。ラビンドランRI会長エレクトは以下に対する取り組みをクラブに強く奨励されています。

1) 地元メディアによる報道の推進

——メディア報道を担当する会員を指名しクラブの活動等取材してもらうよう働きかける。

2) 「ボイスとビジュアルアイデンティティのガイド」の導入促進

——RIウェブサイト内ブランドリソースセンターからダウンロードできるこのガイド(写真)を利用しクラブのウェブサイトや出版物に導入しロータリークラブ・セントラルへ報告する。

3) デジタル媒体やソーシャルメディアの活用推進

これらは次年度RI会長賞の受賞条件にも含まれており、各クラブで積極的に取り組まれてください。地区広報委員会そしてコーディネーターが皆様方のサポートを喜んでさせていただきます。ご理解の程何卒宜しくお願い申し上げます。



●【新設】第1回戦略計画委員会

4月30日(木)◆神戸ポートピアホテル724号室

戦略計画委員会副委員長 矢野 宗司(加古川中央)

滝澤ガバナー、安平委員長はじめ10名の出席のもと、委員会が開催された。

冒頭、滝澤ガバナーより当委員会の任務について説明があり、それをもとに下記の意見交換が行われた。

1. 現在のグループについて、所属クラブ数や会員数に差があるため、グループの再編について検討する。
2. 現在のガバナー補佐の在り方、選任方法、資格条件、任務並びにIMについて検討する。
3. 現在の地区委員の在り方、委員会の構成、委員の選任方法について検討する。

また、当委員会は丸尾ガバナーエレクトの年度においても継続することとなった。

【資料】

設置の趣旨

2010年、国際ロータリーは、ロータリーの使命を定義し、ロータリーが将来何を目指し、そこに到達するにはどのようにしたらよいのかを明らかにするため、「ロータリーの戦略計画」を定め、実施した。そこでは3つの優先項目と5つの中核的価値観が示されている。

3つの優先項目のうち、「クラブのサポートと強化」というまでもなくクラブの活性化を目的とするものであるが、クラブの指導・支援を目的とする地区についても、「クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する」とされているところであり、当地区もこれに取り組む必要がある。

よって、当地区に戦略計画委員会を設置する。

地区の戦略計画の立案については、クラブに対する支援策の立案とともに、地区自体がそのような支援を効果的及び効率的に実行できるように体制を改めることが求められている。そのような改革を通じて、国際ロータリー第2680地区がより強固な基盤を持ち、活性化した組織となることを最終目標とし、そのマイルポストを示すこととする。

職 務

- ①グループの再編成
- ②委員会組織の再編成
- ③ガバナー補佐の職務の再定義
- ④その他上記各号に関連する事項

委員会メンバー

委員長	安平 和彦 (姫 路)	副委員長	中村 尚義 (洲 本)
副委員長	矢野 宗司 (加古川中央)	委員(ガバナー)	滝澤 功治 (神戸須磨)
委員(ガバナーエレクト)	丸尾 研一 (神戸西神)	委員(ガバナーノミニー)	室津 義定 (尼崎中)
委員	三木 明 (姫 路)	委員	久野 薫 (神戸東)
委員	吉岡 康裕 (川西猪名川)	委員	川勝 賢一 (甲子園)
委員	藤本 迪弘 (三 木)	委員	番所 利行 (洲 本)
委員	辻 洋一郎 (上郡佐用)	委員	生駒 和雄 (豊岡円山川)



● 2015-16年度第1回補助金小委員会

4月4日(土)◆神戸三宮東急REIホテル「ボールルーム」

次期補助金小委員長 黒田 建一(西宮夙川)

主要議題は、①2015～16年度地区奨学金(タイプ2)の審査
最終的に応募者が1人(古川園智樹氏、修学先米国・オレゴン大学、提唱クラブ神戸RC)となりましたが、同氏について奨学金授与が決定されました。

②2015～16年度地区補助金申請状況:現在19件の申請

③地区研修・協議会分科会の補助金の意義について一層の理解が得られる様に工夫する。

● 2015-16年度第1回ロータリー財団関係委員会合同会議

4月4日(土)◆神戸三宮東急REIホテル「ボールルーム」

次期ロータリー財団副委員長 黒田 建一(西宮夙川)

丸尾研一ガバナーエレクト、三木明パストガバナー・ロータリー財団、矢野宗司社会奉仕、濱浩一国際奉仕各次期委員長外上記3委員会の地区委員合計44名の出席を得て開催されました。本会議は、上記3委員会がロータリー財団補助金の取扱いを共同して担当していることから開催されたものですが、今回は次年度へ向けて初回のものであり、①ロータリー財団活動に関わる委員会の役割分担、②地区補助金プロジェクト申請の審査手順、③各補助金に関する地区委員会用申請評価書の説明、④ガバナーエレクトによる上記3委員会の確認事項の説明、⑤2015～16年度のDDF配分の報告、⑥ロータリー財団関係委員会日程予定の報告がなされ、休憩をはさんで、上記3委員会の各小委員会の活動方針と主要日程について協議がなされました。

● 2015-16年度 第2回地域問題小委員会

4月4日(土)◆神戸三宮東急REIホテル「ボールルーム」

次期地域問題小委員長 本條 昇(龍野)

ロータリー財団関係委員会合同会議の分科会として、矢野次期社会奉仕委員長以下10名の委員により開催した。3月27日までに提出された地区補助金申請(奉仕プロジェクト)全19件につき、案件毎に担当委員からの報告により、プロジェクト概要と予備審査の進捗状況を情報共有すると共に、見積業者がロータリアンの場合など、手続き上、特に注意を要する事項を再確認した。引き続き、各委員が担当案件について、申請クラブに於ける修正検討並びに添付資料取得を支援し、4月19日の補助金小委員会への上程を目指すこととした。

● 第7回米山奨学委員会

4月12日(日)◆三宮グランドビル2階 会議室

米山奨学委員長 林 浩嗣(神戸須磨)

議題1 PHD協会研修生面接

今年は、インドネシアから有機農業と住民組織化の研修生シャフルルさん、ミャンマーから保健衛生と有機農業研修生サンティダエーさん、ネパールから有機農業と保健衛生の研修生タマン カンチ マヤさんの3名。4月8日に来日したにも関わらず日本語での挨拶が飛び出して驚きました。また通訳の方を交えて抱負を話してもらいました。これからの研修を自分たちの村に持ち帰りたいとの強い思いを感じました。

議題2 オリエンテーションのプログラム及び各委員の担当について

司会、記録、受付、挨拶など役割の確認

議題3 7月25日(土)開催の米山奨学セミナーについて

● 第4回危機管理委員会

4月15日(水)◆神戸センタープラザ西館3号室

危機管理委員長 黒田 建一(西宮夙川)

標記委員会は、滝澤功治ガバナーを始めロータリアン16名、外部委員2名合計18名の出席を得て開催されました。

今回は、RIJYEC（特定非営利活動法人 国際ロータリー日本青少年交換委員会）より提示された「ロータリー青少年交換プログラム・地区再認定資料についての承認と同意書」とこれに添付された諸情報・資料についての報告と対策についての協議が主要議題となりました。上記資料等により、今後青少年交換を実施する為には、実施クラブが青少年交換プログラムについてクラブ参加資格認定のため覚書（MOU）を地区に提出することが義務化されたこと、MOUの承認・同意事項との関係から地区としても危機管理総則（ここでは地区に対し、「危機」とはロータリーにとって「好ましくない事態の全て」とされています。）の制定の義務化、危機管理基金設置の義務化がうたわれ、MOUでは参加クラブについても詳細な義務事項が掲げられるなど、危機管理体制の強化が強く要請されるに至っています。

いずれも直ちに解決することが容易ではないと思われるところから、本年度、更に一回委員会を開催することとなりました。



● 第11回補助金小委員会

4月19日(日)◆神戸三宮東急REIホテル「メイプル」

補助金小委員長 室津 義定(尼崎中)

1. 地区補助金プロジェクト報告書の審査
 - ①プロジェクトが終了していない4件を除いて、報告書を承認した。
 - ②残りの4件については、審査担当者および補助金小委員長が審査を行い、その結果を各委員に報告する。
 - ③西宮RCには、奨学金の残額を支払い、会計処理を終了するよう要請する。
2. 西宮RCおよび神戸RCが提唱する2名のグローバル補助金奨学金申請を承認した。
3. 芦屋RCが提唱する1名のロータリー平和フェロー候補者の推薦を決定した。
4. 資金管理小委員会による内部監査について報告された。

● 第9回職業奉仕委員会

4月20日(月)◆神戸三宮東急REIホテル「ローズ」

職業奉仕委員長 滝内 秀昭(伊丹)

滝澤ガバナーにより開会挨拶として、他地区と本地区の職業奉仕に対する取り組みの違い並びに4条構成となった「ロータリーの行動規範」についての説明を頂く。協議事項1『5回の地区職業奉仕セミナーを振り返って』では、種々反省点とセミナー後の活用報告がなされた。協議事項2『デジタルブック作成について』では、コスト高のデジタルブックをやめてPDF形式で、本年度職業奉仕のマトメとして地区役員・職業奉仕委員・73RC会長よりショートメッセージを寄稿願い、5回の講師の講演原稿・レジメも含めたものにする事となった。以上で協議を終了し、丸尾ガバナーエレクトより終わりの挨拶として「ロータリーの行動規範」4条化への経緯を説明頂き、無事に委員会を終了した。





● 第6回RYLA小委員会

4月22日(水)◆神戸ポートピアホテル724号室

RYLA小委員長 大江 与喜子(西宮恵美寿)

● 5月21日からの本番を前に受講生応募状況を報告

2680地区 31名(男性17名・女性14名)

2670地区 15名(男性10名・女性5名) 合計 46名

年齢の高い人の参加もあり。学友会推薦および推薦クラブの決まっていない数名の受講者の推薦クラブを探すこととした。

● 2670地区のカウンセラー1名の交代がありペア組み合わせを決定。

● カウンセラーミーティングの詳細

26日は、故今井鎮雄元RI理事の散骨に参加する。セミナー配布冊子およびスケジュール、役割分担の確認を行った。

● 第2回歴代ロータリーの友地区代表委員会議

5月1日(金)◆ガバナーエレクト事務所会議室

ロータリーの友委員会特別顧問 安平 和彦(姫路)

先般、水野功次期ガバナー会議長から丸尾ガバナーエレクト宛に、次年度に向けて、①地区内における地区代表委員の位置付けの明確化、②委員引継ぎの徹底、③地区代表委員がガバナーの代理として友事務所を全般的に監督するとともに地区内の情報を友誌に提供していることの認識を広める、④地区内におけるガバナー・ガバナー補佐ならびに各委員会との連携の強化、等についての要請があった。これを受けて、5月1日に、地区では第2回目となる歴代ロータリーの友地区代表委員会議を開催した。滝澤ガバナー・丸尾エレクト・室津ノミニ・大室友委員会顧問、奥村元友委員、熊見現委員、折戸次期委員外にご出席いただき、ロータリーの友委員会の現況と地区代表委員の役割、友誌を読んでもらうための工夫、地区雑誌セミナーの開催等についての有意義な意見交換を行った。

● 2015-16年度第3回補助金小委員会

5月6日(水・振)◆神戸三宮東急REIホテル「メイプル」

次年度補助金小委員長 黒田 建一(西宮夙川)

丸尾研一ガバナーエレクト、室津義定ガバナーノミニ及び次期社会奉仕委員会から委員長を含め9名、次期ロータリー財団委員会から委員長を含め12名(次期社会奉仕委員会との重複者を除く)、今田学志次期代表幹事の合計24名の出席を得て開催されました。今回は、地区補助金の内奉仕プロジェクトに関する件19件(内1件地区申請)についての審査が行われ、2件の保留を除き、17件が承認されました。新制度となって3回目となり、手続きはかなりスムーズに行われています。一方で実質上の同一プログラムの継続的申請の取扱い方、ロータリー理念と申請プロジェクトとの関係性等については、今後申請数の増加が見込まれる中で、更に基準を示してゆく必要性のあることが確認されました。審査権限を持つ地区の補助金委員会は一方において各クラブに対する説明義務があり、今後セミナーなどにおいて工夫をしてゆくことになると考えています。

ご入会おめでとうございます(敬称略・クラブ順)

尼崎南



平杉嘉一郎
精神科・産婦人科
3/19入会

西宮



藤田 邦夫
商工会議所
4/21入会



山本 修士
眼科
4/21入会

篠山



小野 治信
都市銀行
4/15入会



月森 一延
建設業
4/22入会

柏原



宮地 良彰
地方銀行
4/17入会

宝塚武庫川



中尾 篤志
運送業
4/2入会



尾山 基
スポーツ用品製造
3/5入会



三木谷 研一
サッカークラブ
3/12入会

神戸南



藤田 進
不動産業
4/6入会



塚本 恵則
葬祭業
5/11入会



山本 宏光
廃棄物処理業
5/11入会

神戸北



中村 正
内科
2/16入会



酒井 正司
不動産販売
3/16入会



山路 紳護
水処理薬品製造
5/12入会

加古川中央



花里 佳治
金属工業
4/16入会



永井 敏幸
溶接作業
4/16入会

西脇



鎌田 佳朗
証券業
3/2入会

姫路



菊井 公策
商事弁護士
4/7入会



岡野 吉純
パン製造販売
4/7入会



盛田 啓介
ゴルフ場
4/1入会

相生

ガバナー事務所 からのお知らせ

◆ガバナー月信は13号まで発行されます。
13号は、9月下旬発行(予定)の年次報告書と
一緒に綴じられて配付されます。是非13号
もお読み下さい。

訃報



故 中島 御幸 氏(姫路) 故 高田 俊夫 氏(龍野)
3月26日 享年77歳 5月16日 享年81歳



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



北里 桂一
(伊丹有明)



新 尚一
(神戸)



菊池 晴彦
(神戸)



浅井 光昭
(神戸)



城戸 茂樹
(神戸)



岡川 正典
(神戸)

ポール・ハリス・フェロー

ポール・ハリス・フェロー



清水 真人
(神戸)



藤田 進
(神戸南)



近藤 弘人
(神戸南)



塚本 恵則
(神戸南)



山本 宏光
(神戸南)

米山功労者メジャー(13回)

第8回 米山功労者

第5回 米山功労者

第3回 米山功労者

第2回 米山功労者



橋本 一豊
(神戸須磨)



早水 勝徳
(神戸須磨)



逢坂 光豊
(神戸須磨)



益子 和久
(神戸須磨)



宮本 孝
(西宮夙川)



古閑 次夫
(神戸須磨)

6 月 地 区 活 動 予 定

日	時	行 事 名	場 所
5日(金)	17:30~	2015-16年度第1回規定審議委員会	ガバナーエレクト事務所会議室
6日(土)		ブラジル国際大会(~9日まで)	ブラジル サンパウロ
		IAC顧問並びにロータリアン合同研修会(~7日まで)	姫路キャッスルグランヴィリオホテル
7日(日)	9:50~	第18回地区囲碁大会	神戸勤労会館407号室
14日(日)	10:00~	2015-16年度第4回青少年交換長期派遣候補生および 2015-16年度来日生関係者オリエンテーション	神戸三宮東急REIホテル 「ボールルーム」
	18:00~	第4回ガバナー連絡会議	神戸ポートピアホテル
18日(木)	19:00~	第3回増強・拡大委員会	未定
20日(土)	14:00~	2015-16年度インターアクト・タイ王国スタディーツアー保護者説明会	神戸センタープラザ西館9号室
	16:00~	2015-16年度第1回職業奉仕委員会	ガバナーエレクト事務所会議室
21日(日)	11:00~	第37回ローターアクト地区年次大会	夢海遊 淡路島
22日(月)	19:00~	第5回危機管理委員会	神戸センタープラザ西館3号室
23日(火)	16:20~	第3回ガバナー指名委員会	神戸ポートピアホテル724号室
	17:00~	第4回ガバナー諮問委員会	神戸ポートピアホテル
27日(土)	13:00~	4学友会合同総会並びにVTT派遣者報告会	神戸三宮東急REIホテル
	15:00~	第4回地区運営会議	神戸ポートピアホテル
28日(日)	14:00~	2015-16年度第5回補助金小委員会	神戸三宮東急REIホテル「メイプル」
29日(月)	15:00~	2015-16年度第1回ポリオプラス小委員会	ガバナーエレクト事務所会議室

国際ロータリー第2680地区 2015年4月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数					クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数				
				2014年 7月1日	当月末	増減	女性					2014年 7月1日	当月末	増減	女性	
尼 崎 6	尼 崎	4	87.50	32	34	2	1	東 播 第 一 4	明 石	3	80.96	54	53	-1	0	
	尼 崎 北	4	92.50	40	41	1	0		明 石 西	4	94.10	43	43	0	1	
	尼 崎 東	3	99.16	48	44	-4	0		明 石 北	3	89.73	45	45	0	0	
	尼 崎 西	4	100.00	34	36	2	2		明 石 南	4	96.64	24	24	0	0	
	尼 崎 南	4	89.69	38	37	-1	4		小 計		90.36	166	165	-1	1	
	尼 崎 中	4	73.14	26	27	1	1		東 播 第 二 5	高 砂	4	96.71	43	44	1	3
	小 計		90.33	218	219	1	8		加 古 川	4	84.48	73	73	0	0	
阪 神 第 一 5	伊 丹	4	86.90	40	42	2	0	加古川中央	4	87.45	52	56	4	0		
	川 西	4	97.60	31	33	2	4	高砂青松	4	93.08	47	47	0	2		
	伊丹有明	4	91.21	29	28	-1	0	加古川平成	4	87.31	12	14	2	1		
	川西猪名川	4	98.80	24	23	-1	4	小 計		89.81	227	234	7	6		
	伊丹昆陽池	4	92.88	21	19	-2	0	東 播 第 三 5	三 木	4	96.13	57	55	-2	0	
小 計		93.48	145	145	0	8	小野加東	4	93.73	42	42	0	1			
阪 神 第 二 6	西 宮	4	100.00	50	53	3	0	北 条	4	98.60	37	38	1	2		
	芦 屋	4	83.47	48	49	1	0	西 脇	4	96.31	43	48	5	2		
	甲 子 園	4	92.26	42	42	0	2	三木みどり	4	96.42	36	35	-1	0		
	西宮夙川	4	93.94	39	39	0	5	小 計		96.24	215	218	3	5		
	芦屋川	4	86.11	24	28	4	1	淡 路 5	洲 本	4	93.15	37	37	0	1	
	西宮恵美寿	4	87.00	25	25	0	6	南 淡 路	4	90.10	28	28	0	4		
	小 計		90.46	228	236	8	14	淡路三原	5	92.00	21	21	0	0		
阪 神 第 三 8	宝 塚	4	94.05	21	21	0	1	津 名	4	91.47	37	36	-1	0		
	三 田	4	65.90	26	22	-4	0	あわじ中央	4	97.22	20	18	-2	0		
	篠 山	4	100.00	44	47	3	0	小 計		92.79	143	140	-3	5		
	柏 原	4	93.85	50	49	-1	0	西 播 第 一 6	姫 路	4	93.28	90	88	-2	0	
	宝塚武庫川	4	82.26	39	36	-3	0	姫 路 南	4	96.23	72	81	9	0		
	三 田 南	4	100.00	8	7	-1	0	姫 路 西	3	86.71	71	73	2	2		
	宝 塚 中	4	85.80	30	33	3	9	姫 路 東	4	100.00	74	73	-1	1		
	HYOGOロータリー Eクラブ	4	100.00	23	21	-2	5	神 崎	4	85.83	31	30	-1	0		
小 計		90.23	241	236	-5	15	姫路中央	4	100.00	6	6	0	0			
神 戸 第 一 7	神 戸	5	91.78	153	152	-1	0	小 計		93.68	344	351	7	3		
	神 戸 東	4	84.59	108	109	1	0	西 播 第 二 4	赤 穂	4	93.68	41	40	-1	0	
	神 戸 東 灘	4	83.33	29	33	4	3	相 生	4	100.00	40	41	1	2		
	神 戸 有 馬	5	96.18	12	12	0	0	龍 野	4	96.01	54	52	-2	4		
	神 戸 南	4	87.09	75	79	4	0	上郡佐用	4	100.00	23	24	1	7		
	神 戸 六 甲	4	93.33	15	15	0	0	小 計		97.42	158	157	-1	13		
	神 戸 ベイ	4	94.75	23	22	-1	3	但 馬 5	豊 岡	4	99.27	33	35	2	1	
小 計		90.15	415	422	7	6	生 野	5	80.28	22	21	-1	0			
神 戸 第 二 7	神 戸 西	4	88.03	61	60	-1	5	香 住	4	94.70	21	19	-2	0		
	神 戸 須 磨	4	93.43	35	36	1	0	豊岡円山川	4	89.11	21	21	0	0		
	神 戸 北	4	86.60	27	28	1	2	和 田 山	4	94.26	22	22	0	1		
	神 戸 垂 水	5	95.91	29	32	3	5	小 計		91.52	119	118	-1	2		
	神戸ハーバー	4	100.00	7	7	0	0	合 計	73RC		92.28	2,857	2,883	26	103	
	神戸西神	4	98.70	39	37	-2	1									
	神 戸 中	3	89.92	40	42	2	4									
小 計		93.23	238	242	4	17										

◆クラブ数…………… 73RC
 ◆2014年7月1日 クラブ会員数… 2,857人
 ◆2015年4月末 クラブ会員数… 2,883人

◆2015年4月末女性会員数…………… 103人
 ◆2015年4月平均出席率…………… 92.28%
 ◆増 減…………… 26人増